



北浦小だより

令和2年10月19日

(HP) <http://www2.sopia.or.jp/kitaurael/>

# Hop Step Jump 第25号

ホップ・ステップ・ジャンプ

文責:校長 武田 民弥

## 5・6年生児童一人一人が輝いて見えた「校内陸上記録会」

コロナ禍で中止になった行方市小学校親善陸上記録会。6年生にとっては大きな行事の一つが実施できなくなっていました。「6年生に北浦小学校の代表として競技する経験や、5年生に学校代表という責任を感じる機会をつくりたい」という思いで、校内陸上記録会という形で実施させていただきました。

### 1 イベント化したからこそ見えた真の実力

当日は、6年生はゼッケン・ハチマキをつけ、5年生はハチマキをしめて競技しました。進行も親善陸上記録会と同じように各担当教師がコールし、返事をし



て競技に参加しました。会場こそ本校グラウンドですが、1～4年生児童や家族の応援があり、ハチマキは本番意識を高めてくれていました。各競技に取り組む児童の姿はとても素晴らしく輝いていました。自己ベストの記録を出した児童もたくさんいました。

### 2 3・4年生の応援・1・2年生の声援が力に

開会式の中で3・4年生が、5、6年生へ応援のエールをおくってくれました。4年生の応援団を中心に「フレイフレー



北浦」「がんばれ がんばれ北浦」等の声が響きわたりました。1～4年生全員でのエールはできませんでしたが、4年生児童が主体となって進められていました。4校時は1・2年生も加わり全校児童から声援が送られました。

0.1秒、1cmといった小さな自己ベスト更新だった人もいたと思います。でも全力で取り組み、応戦してくれた人と一緒になって喜んでくれる姿をたくさん見ました。5・6年生もうれしかったと思います。

私は、児童の競技へ取り組む姿、応援する姿を見て、「本当にやってよかった。」と思いました。今後も試行錯誤しながらも、保護者の皆様に児童の活動を見ていただける機会を設定できるよう取り組んでまいります。

## 『おジャマします 授業拝見』⑧

### 【2年1組担任 ○○ ○○ 先生】

国語「お手紙」の授業。本時は「かえるくん・がまくんの手紙をまつ様子を読み取ろう」でした。第3場面を読み、手紙を待つ様子がわかる言葉に線を引いて



いきます。『『あきあき』で、あきちゃったことだよね。』『がまくんは、手紙がくることをあきらめたのかな?』とグループでの話し合いが進んでいきます。「かえるくんは窓から外をのぞいているから、早くお手紙がくるのを待っているんだよ。」と児童の考えは広まっていきました。

○○先生は、児童の思いや考えを引き出し、まとめしていきます。まとめとして行った音読発表は登場人物の気持ちを考えながら行っていました。

○○先生は鉄道好きで、新幹線やリゾート列車で旅をするのが好きだそうです。夢は、新幹線等を乗り継いでの日本一周の旅だそうです。

### 【5年2組担任 ○○ ○○ 先生】

「溶けたはずのミョウバンが再び現れたのはなぜだろう」という課題に対して、各班で立てた仮説に基づいて検証実験が始まりました。



○○先生は各班を回りながら、実験のアドバイスをしたり、質問に答えたりしています。児童は自分たちでピーカー等を用意して、お湯で熱したり、氷で冷やしたりして溶けたはずのミョウバンが出てきた理由を調べていきました。各グループごとに考察を記入し、全体で確認して授業は終了しました。児童が自分たちで決めた方法で検証していく主体的な活動が見られました。

○○先生は登山が好きで、富士山にも登った経験があるそうです。現在も福島県・栃木県の山に登っているそうです。夢は日本百名山を制覇することだそうです。

